

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年10月28日

事業所名: 放課後等デイサービス
フェローLabo

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			・移動式のパーティション等あるとクールダウンの場所と活動場所とを分ける事が出来て良いかもしれない。	22	3	1	1	・思い思いの活動(体を動かしたい、パソコンをしたい、宿題をしたい)を子ども達がしてしまうとスペースの住み分けは、どうしても難しいのかなと思う。【わからない】	・引き続き、用途に応じて最適なレイアウトを心掛ける。
	2 職員の適切な配置	○			・基準に準じた人員配置は行っているが、子どもの人数によっては、もう少しスタッフがいても良いなど感じる。	22	3		2		・多機能型を活かしたサポート体制の整備や、アルバイトの配置等随時行っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		・個別で学習できるスペースがあると良い。	22	1		4		・引き続き、用途に応じて最適なレイアウトを心掛ける。(パーティションの利用等、子どもの特性に応じた環境整備を必要な時に行えるようにしていく。)
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			・毎日朝夕と掃除を行い、清潔を保っている。	25			2	・そのようにしていただいていると理解しています【はい】	・引き続き、毎日の清掃を実施していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・毎日の申し送りの中で、日々子ども達の支援に関する事をスタッフ間で話し合う時間を設けている。						・毎日の申し送りを継続していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	・第三者による外部評価は行っていない。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・外部の研修等、随時参加している。						・今後も外部の研修等、随時参加していく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			・半年に1回のモニタリングは、保護者様に事業所に来所をお願いしている。(現在は、新型コロナウイルス感染防止の為、電話で対応している。)	26			1	・デイサービスを利用する日は、帰宅が遅くなるので、宿題をさせてほしいと数回伝えていますが、して帰ってくる日はほほなく、ぐずりながらすることがあります。文字のけいこや漢字など指導のいらぬものでいいので、するように声掛けてほしいです。【分からない】	・宿題に関しては、必要に応じて本人の無理のない程度、本事業所の活動に支障の無い程度に取り組んでいきたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			・出来る限り、具体的な活動内容や関わり方を記載するように意識している。	27					・引き続き、適切な支援を心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供	3	○			・集団活動(小集団での活動)に関しては、月2回のイベント活動の中で取り入れている。						・引き続き、子どもの発達段階やニーズに応じた適切な支援を心掛ける。
適切な支援の提供(続き)	4	○			・支援計画に沿った活動を提供する事を日々意識している。	25			2	・コロナ禍で長期利用していないので、分からない。【わからない】	・引き続き、子どもの発達段階やニーズに応じた適切な支援を心掛ける。
	5	○			・毎日の申し送りの中で、日々の活動やイベント等の立案を行っている。						・日々の申し送りの中で、子ども達の成長に繋がる活動をスタッフ皆で考えて行く。
	6	○			・スタッフの得意分野を活かし、ICT以外の活動も取り入れている。(制作あそび、お料理イベント等)	22	4		1	・乳幼児が好きなので、それを活かす活動を考えてもっている。【はい】	・スタッフの得意分野を活かし、ICT以外の活動も充実させる中で、子どもの成長に繋げていく。
	7		○		・休日は、イベント活動や日中に公園活動を取り入れているが、室内での活動はマンネリ化しがちな部分がある。						・休日は、新しい活動にチャレンジしたり、制作コーナーやレクリエーションコーナーを常設する等、子ども達に楽しんで利用してもらえる工夫を行っていく。
	8	○			・毎日の申し送りの中で、確認している。						・毎日の申し送りを継続していく。
	9	○			・毎日の申し送りの中で、行っている。						・毎日の申し送りを継続していく。
	10	○			・日々の子どもの記録は、Excelに記録、蓄積している。						・今後も継続して記録を蓄積していく。
	11	○			・必要に応じて、半年を待たず個別支援計画の見直しを行っている。						・今後も、必要に応じて適宜に個別支援計画の見直しを行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	○			・学校、関係機関からの要請に応じて、随時担当者会に参加している。						・今後も、学校、関係機関との連携は大事にしていく。	
	2				・該当者無し							
関係機関との連携（続き）	3				・該当者無し							
	4	○			・相談員さんとの情報共有は行っているが、幼稚園や学校等とは、十分に行う事は出来ていない。						・幼稚園や学校等とは、今後積極的に連携を図っていききたい。（相談員さんにケア会議等依頼していく等）	
	5	○			・他事業所との連携は、必要に応じて行っている。						・今後も、保護者様同意の下、積極的に引継ぎや情報共有を行っていききたい。	
	6	○			・不十分に感じるので、今後積極的に連携を図っていききたい。						・事業所内での研修の企画等を行いながら、スタッフの専門性を高めていききたい。	
	7	○			・休日の公園活動や、夏祭りイベント等で、地域の子供達と触れ合う機会を設けている。	6	2	3	16			・引き続き、休日の公園活動や、夏祭りイベント等で、地域の子供達と触れ合う機会を設ける中で、相互理解に繋がるよう努めていく。
	8	○			・例年、夏祭り(8月)は地域の方々にも来ていただけるように周知している。(今年度は、新型コロナの影響で開催出来なかった)							・来年度は、新型コロナの感染状況を鑑みながら、地域の方も招く事の出来るイベントを企画、実行する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			・契約時に、丁寧に説明するよう意識している。	26	1			・引き続き、丁寧な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			・随時丁寧に説明するよう意識している。	26			1	・新型コロナの影響で、直接お会いしてのモニタリングが出来ていないが、説明不足とならないように、しっかりお電話でも対応させて頂く。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		・ペアレントトレーニングは、不十分。今後、家庭でのお子さんとの関わり方等の相談・助言も積極的に行っていきたい。	10	5	3	9	・今後は、新型コロナの感染状況を鑑みつつ、しばらく実施出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			・半年に1回のモニタリング、電話や連絡帳でのやりとりにて、共通理解をはかろうと意識している。	25	2			・今後も、半年に1回のモニタリング、日々の電話や連絡帳でのやりとりにて、子どもの現状の共通理解をはかっていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			・日々、電話や連絡帳でのやりとりにて相談は受けているが、ペアレントトレーニングは不十分だと感じている。今後積極的に行っていきたい。	23	4			・今後は、新型コロナの感染状況を鑑みつつ、しばらく実施出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	・今年後は、保護者会を実施出来なかった。保護者の方も一緒に学べる研修会や座談会を計画していく。	6	6	5	10	・今年後は、保護者会を実施出来なかった。保護者の方も一緒に学べる研修会や座談会を計画していく。 ・同グループ内の見学会等、自社が提供できるサービスに関して知ってもらう機会を設けていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			・苦情に関しては、社内の仕組みに沿って対応している。	16	1	2	7	・事業所からの送迎メールが届かない事がある。（正常に届かない）【いいえ】 ・苦情申出がないので対応については分からないが、きちんとしていると思っている。【わからない】
8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			・日々、電話や連絡帳でのやりとりにて相談は受けているが、ペアレントトレーニングは不十分だと感じている。今後積極的に行っていきたい。	25	2			・今後は、しばらく出来ていない保護者勉強会等も開催・活用しながら、ペアレントトレーニングを充実させていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
)	9	○			・毎月1回日々の活動の様子を載せたLaboだよりを作成、配布している。 ・SNS(Instagram)で、子ども達の活動の様子を投稿している。	26	1				・今後も、子ども達の活動の様子がしっかり伝わるようにお便りの配布、SNSの更新等に努めていく。
	10	○			・契約時に、個人情報開示に関する聞き取りを行っている。	23		1	3	・メールの誤送信で、アドレスが流出した事が2度あった。その影響か分からないが、迷惑メールが100件以上きている。【いいえ】	・メールの誤送信に関しては、スタッフ間での再確認を徹底する中で、同じミスを繰り返さないようにしていく。
非常時等の対応	1			○	・職員には周知しているが、保護者には周知出来ていない。今後、必要に応じてマニュアルを開示していく。	16	3	1	7		・今後、必要に応じてマニュアルを開示していく。(マニュアル等にあるスタッフの役割を知ってもらう事により、より安心して利用して頂けるように努めていく。)
	2	○			・年に2回実施している。	12	2	1	12	・利用が少ないので、分からない。	・引き続き、定期的な実施を継続し、その様子をLaboだより等で保護者様にもお伝えしていく。
非常時等の対応(続き)	3	○			・年1回以上、外部研修に参加したり、部署内研修を行ったりしている。						・引き続き外部研修、部署内研修等を行う中で、虐待防止に努めていきたい。
	4	○			・個別支援計画に記載している。						・引き続き、個別支援計画に記載していく。
	5	○			・契約時にヒアリングを行い、おやつ提供時やお料理イベント時には、出来る限りの配慮を行っている。						・引き続き、契約時にヒアリングを行い、おやつ提供時やお料理イベント時には、出来る限りの配慮を行っていく。
	6	○			・事故やヒヤリハットが起こった場合は、ヒヤリハットのフォーマットに記録し、社内で共有する事になっている。						・その都度ヒヤリハットの事例を重ね、スタッフ間で対策を考え実施していく中で、安心安全に利用してもらえる事業所にしていきたい。